

地域医療連携室だより vol.17

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室
TEL 0533-66-2307 FAX 0533-66-2308

地域医療連携交流会を開催

当院の恒例行事となりました『地域医療連携交流会』を、去る2月4日(木)午後7時から、蒲郡市医師会及び歯科医師会の先生方をお招きして開催いたしました。

当院の進める『顔の見える連携』に、として始まった交流会ですが、今年度で第3回目を数えます。

当日は、医師会から福原会長始め18名、歯科医師会から酒井会長始め5名の開業医の先生方と、当院医師、看護師等も加わり大変にぎやかな交流会となりました。

今年の交流会では、「在宅療養後方支援病院について」の当院職員の説明に続き、市医師会事業として『在宅医療導入研修会』が行われ、蒲郡市介護認定審査会会長の近藤耕次先生より、介護認定審査の流れや主治医意見書の書き方についての講演が行われ、医師会の先生方のほか、歯科医師会の先生方や当院医師も熱心に聴講されていました。

引き続き、午後8時から行われた懇親会においては、軽食や飲み物を囲んで、普段なかなか顔を合わせることがない先生同士の和やかな歓談の花があちこちで咲いていました。

これからも交流会等を通して『顔の見える連携』に心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。
(文責/地域医療連携室 三浦)



～ 8箇所の病院と施設を見学・訪問しました ～

平成27年度に市内及び市外の療養病床や回復期リハビリ病床を持つ病院や施設の訪問を行いました。施設の特徴や設備、スタッフの配置状況やケア内容等について見学させていただき、おかげで各施設のあり方がよく分かり、転院支援の際の患者様・ご家族様に、より具体的な説明ができるようになったことが大きな成果となりました。

1年かけて8施設を訪問(延べ15日間)させていただきましたが、今回の訪問を機に連携の輪を広げ、さらに深めていくとともに、ご多用の中、ご対応いただいた各施設の担当者の皆様に心から御礼を申し上げます。

裏面もご覧ください

地域医療連携室だより vol.17

発行：蒲郡市民病院 地域医療連携室

ヘルニア専門外来を開設いたしました

平成28年2月から毎週火・水・木曜日の午前中に、東三河では初となる『ヘルニア専門外来』を開設いたしました。

病状によっては、放置しておくとう腹膜炎を引き起こす可能性もあるため、専門外来を設けることで、市民の皆様がこの病気の正しい理解と早めの受診をお願いするためのものです。



在宅患者等一時入院（レスパイト入院）を受け入れてます

先の地域医療連携室だより(vol.15)にてお知らせしましたが、レスパイト入院の受け入れをしています。入院にあたっては、開業医からの紹介が必要で、基本的に蒲郡市内にお住まいの方を対象に、1週間程度の入院となります。

在宅で介護をされている方の休息や検査・入院等により介護が一時的に受けられなくなった在宅患者さんに、当院に一時的に入院をしていただくものです。詳しくは、地域医療連携室までご相談ください。

スタッフ紹介(PART2)

入退院管理室 副室長 田中 三千歳

入退院管理室は、地域医療連携室と共に地域包括連携推進部に属し、平成27年4月に新設された部署です。場所は正面玄関を入った1階左側の入退院受付に位置し、室長の佐藤医師以下、事務3名、看護師2名の計6名のスタッフです。

業務の内容は、地域包括ケア（7階西）病棟の管理・運用を行い、患者さんを急性期病床から受け入れ、在宅等から緊急の受け入れ、在宅への復帰支援を行っています。

このような中、先日地域包括ケア病棟が満床になりました。病床稼働を高めることが私たちにとって大事なことであると考える一方で、入院された患者さんが、お元気にご自宅に退院していただくことが私たちの究極の使命であり、大きな喜びの瞬間でもあります。今日もそんな喜びの瞬間を求めて仕事に当たっています。

新年度の診療報酬の改定を控え、病床管理はますます重要になってきますが、元気に退院される患者さんの姿を思い浮かべながら、これからもスタッフ一同で頑張っています。



佐藤室長を囲んで（筆者は後列右）